

FY 03/2026

Financial Results

2026年3月期 第2四半期 決算説明会資料

サンワテクノス株式会社

東証プライム | 証券コード：8137

2025年11月11日（火）

<https://www.sunwa.co.jp/>

- ▶ 2026年3月期 第2四半期 決算概要
- ▶ 2026年3月期 業績予想
- ▶ 第12次中期経営計画 “SUN-WA Growth Plan 2027”
- ▶ 株式会社エムテック 及び HTK Europe Limitedのグループ会社化
- ▶ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
- ▶ 株主還元

2026年3月期 第2四半期 決算概要

第2四半期 決算ハイライト

※増減率：前年同期に対する比率

※達成率：第2四半期 業績予想に対する比率

売上高 **693.8** 億円

増減率	-0.1 %
達成率	96.8 %

営業利益 **14.6** 億円

増減率	-11.2 %
達成率	135.6 %

経常利益 **17.6** 億円

増減率	5.2 %
達成率	145.0 %

中間純利益 **12.0** 億円

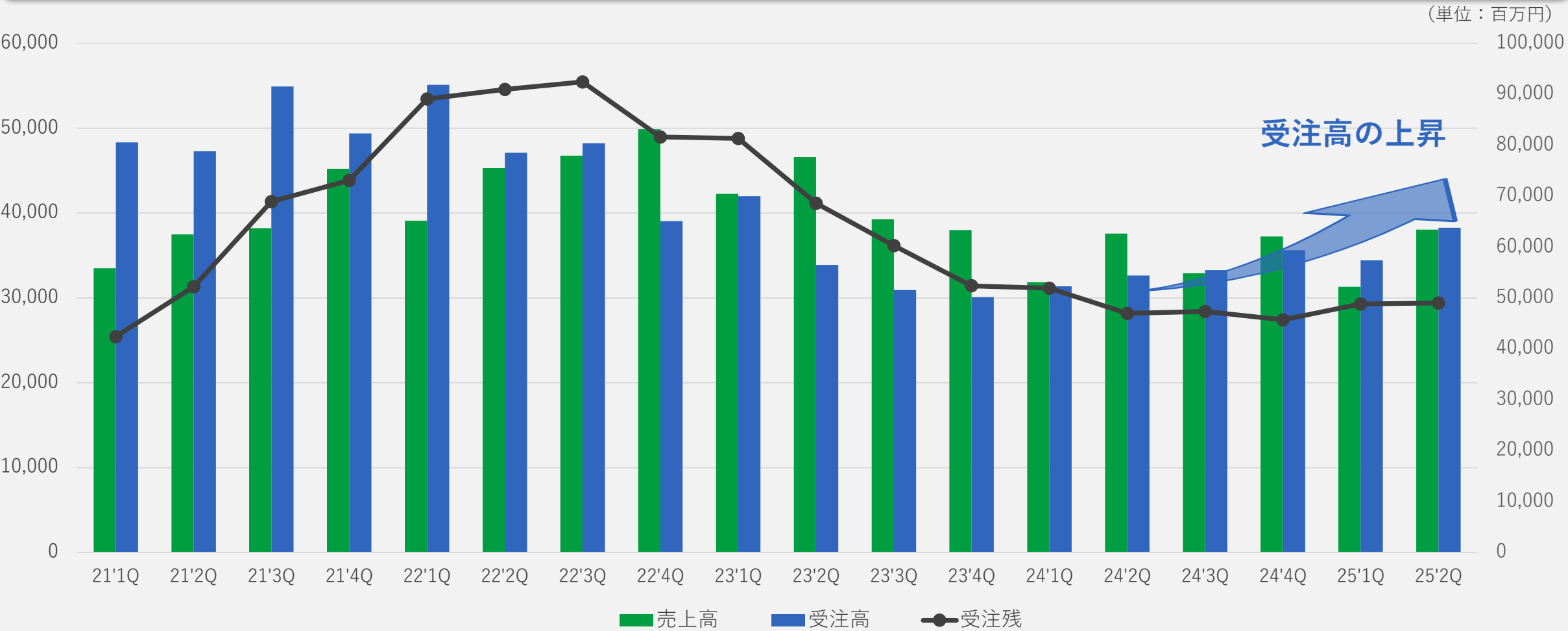
増減率	-5.1 %
達成率	142.9 %

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異について

2026年3月期第2四半期（中間期）における連結業績につきましては、売上高は期初時点の想定通りに推移しましたが、売上総利益率に改善がみられ、また、販管費の縮減を継続して行ったことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は予想数値を上回りました。

四半期別実績

売上高は直近四半期を上回る
受注高は回復が続き、4四半期連続で前年同期を上回る、受注残は横ばいの状態が続く



地域別セグメント実績

日本では需要の回復が続き、売上高・受注高・受注残が前年同期を上回る
海外は需要の回復が遅れている

2026年3月期第2四半期（中間期）

単位：百万円
() は対前年同期比増減率

	売上高		受注高		受注残	
日本	53,695	(7.2%)	51,176	(24.4%)	34,432	(6.9%)
アジア	21,827	(△6.1%)	18,581	(△5.6%)	12,049	(△5.2%)
欧米	3,023	(△9.7%)	2,433	(△12.4%)	2,065	(15.4%)
その他	378	(△14.5%)	491	(14.9%)	448	(81.2%)
調整額	△9,544	(－)	—		—	
合計	69,380	(△0.1%)	72,682	(13.5%)	48,995	(4.3%)

地域別セグメント実績

単位：百万円



*セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております

日本

アジア

欧米

売上高 : 536億95百万円 (前年同期比7.2%増)
営業利益 : 9億62百万円 (前年同期比6.5%減)

- ・半導体製造装置業界向けの電機品の販売が**増加**
- ・自動車関連業界向けの電子部品の販売が**増加**
- ・アミューズメント業界向けの電子部品の販売が**増加**
- ・新エネルギー関連業界向けの制御機器の販売が**増加**

売上高 : 218億27百万円 (前年同期比6.1%減)
営業利益 : 4億25百万円 (前年同期比16.5%減)

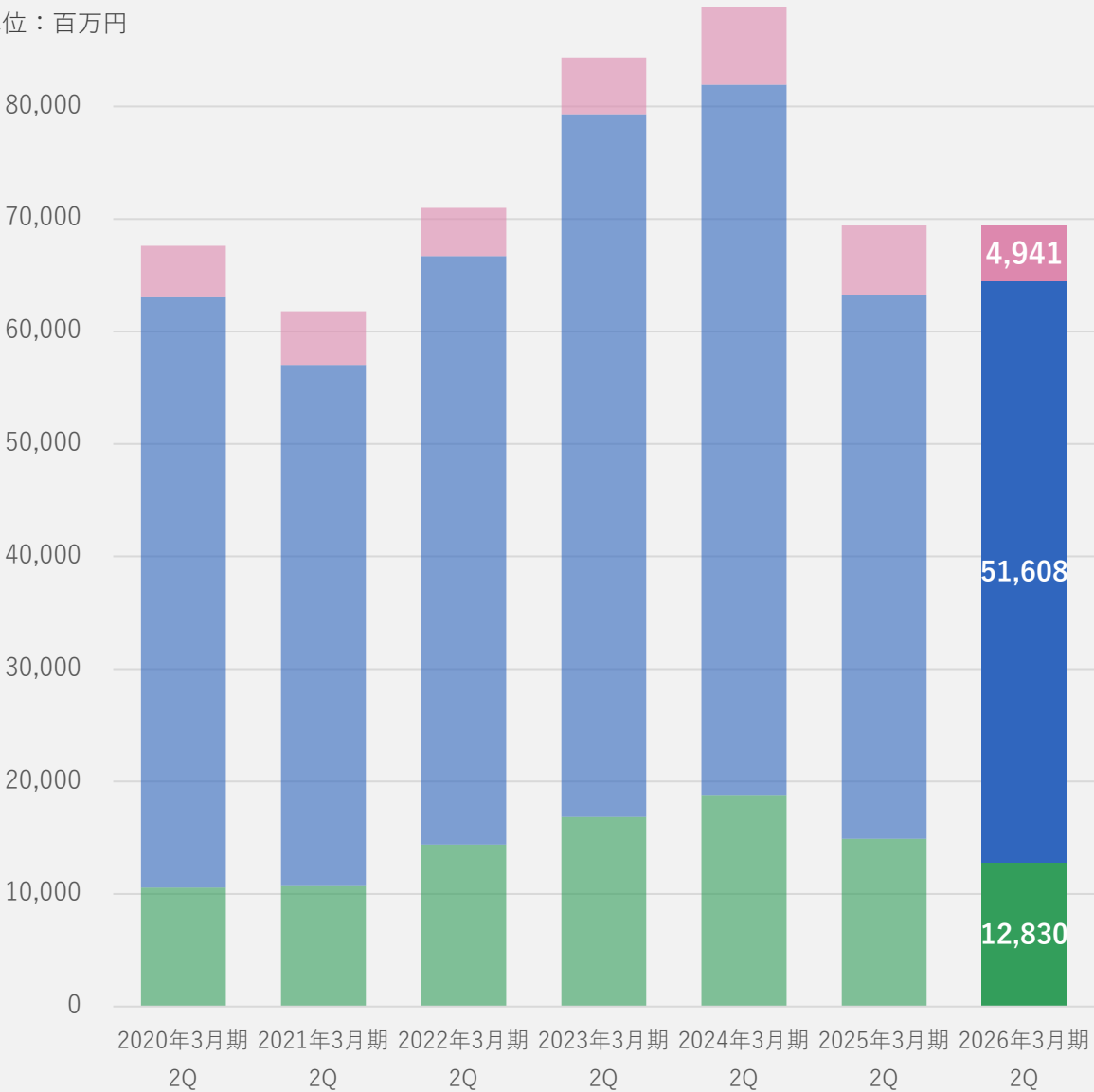
- ・(中国)太陽光関連装置業界向けの電機品の販売が**減少**
- ・(中国)産業用ロボット業界向けの電子機器の販売が**増加**

売上高 : 30億23百万円 (前年同期比9.7%減)
営業利益 : 14百万円 (前年同期比72.6%減)

- ・FA業界向けの電子部品の販売が**減少**

部門別実績

単位：百万円



電機

売上高：128億30百万円（前年同期比13.9%減）

- ・半導体製造装置業界向けの電機品の販売が**増加**
- ・太陽光関連装置業界向けの電機品の販売が**減少**

電子

売上高：516億8百万円（前年同期比6.7%増）

- ・自動車関連業界向けの電子部品の販売が**増加**
- ・アミューズメント業界向けの電子部品の販売が**増加**

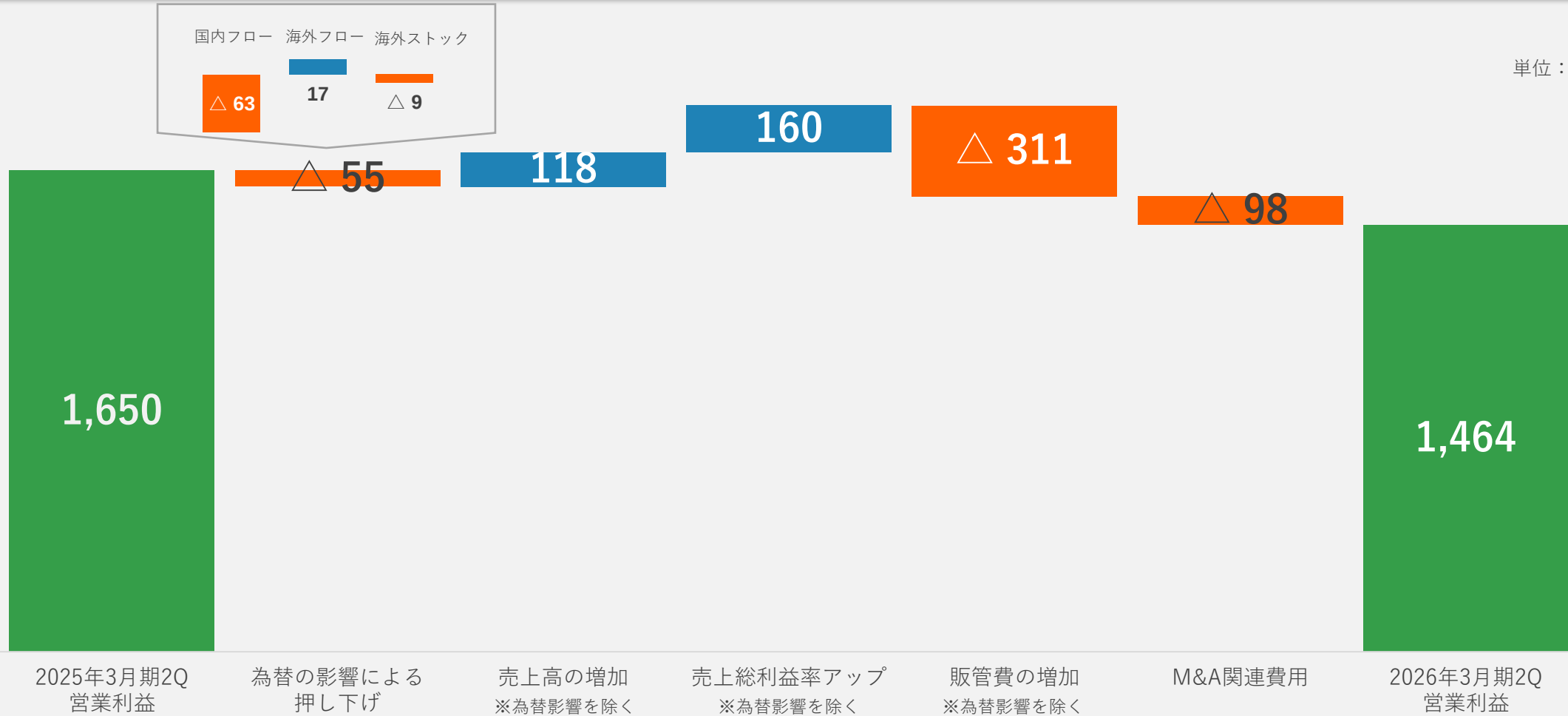
機械

売上高：49億41百万円（前年同期比19.5%減）

- ・半導体製造装置関連業界向けの設備機器の販売が**減少**

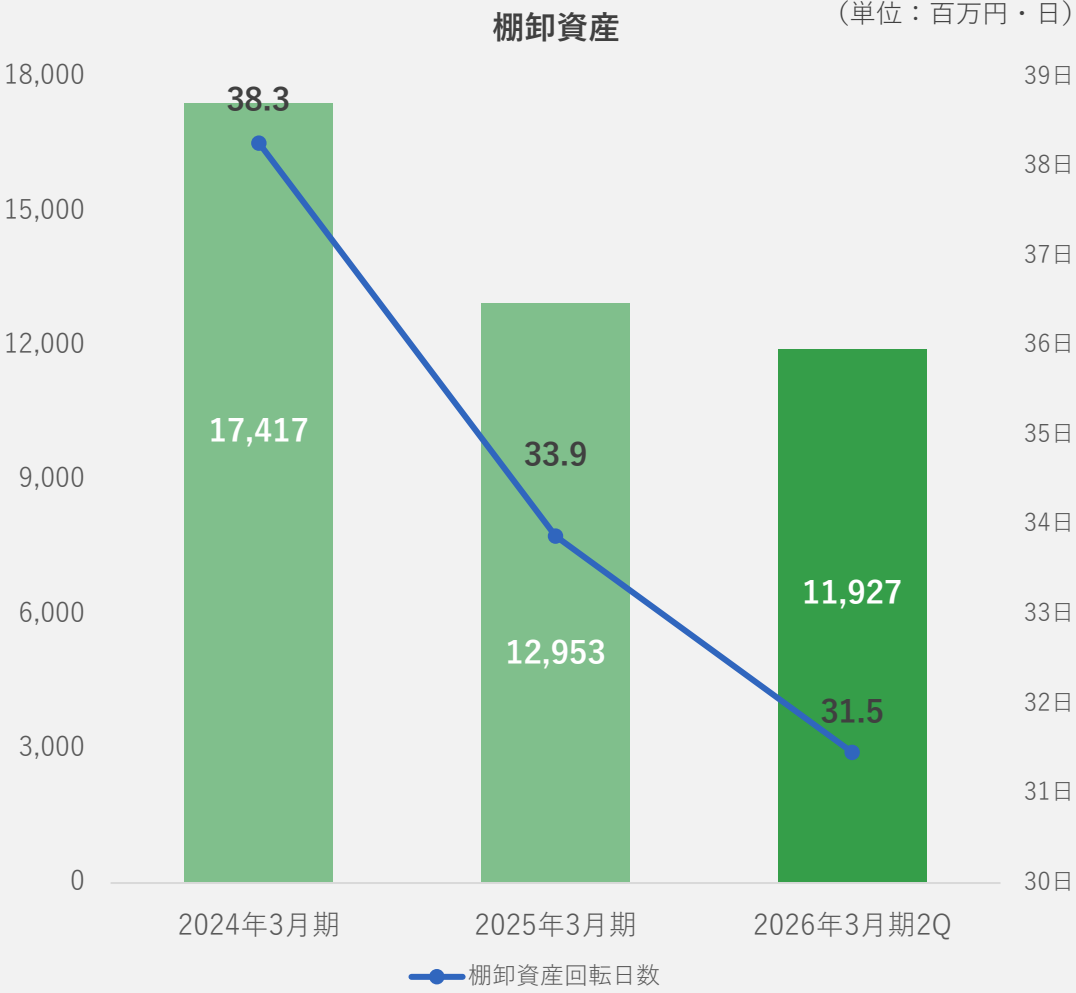
営業利益 増減分析

売上総利益率は改善したが、為替の影響による利益の押し下げとM&Aに関する費用の計上等により
販管費が増加し、前年同期比減益



BS概況

キャッシュコンバージョンサイクルは継続して改善



2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

※増減率：前年同期に対する比率

前回発表からの変更はございません。

第2四半期（中間期）連結業績は各段階利益において予想数値を上回るが、海外の需要の回復が遅れていることから、通期見通し（2025年5月9日発表）を据え置く

売上高 **1,550.0** 億円 増減率 11.0 %

営業利益 **35.0** 億円 増減率 -0.2 %

経常利益 **37.6** 億円 増減率 -1.5 %

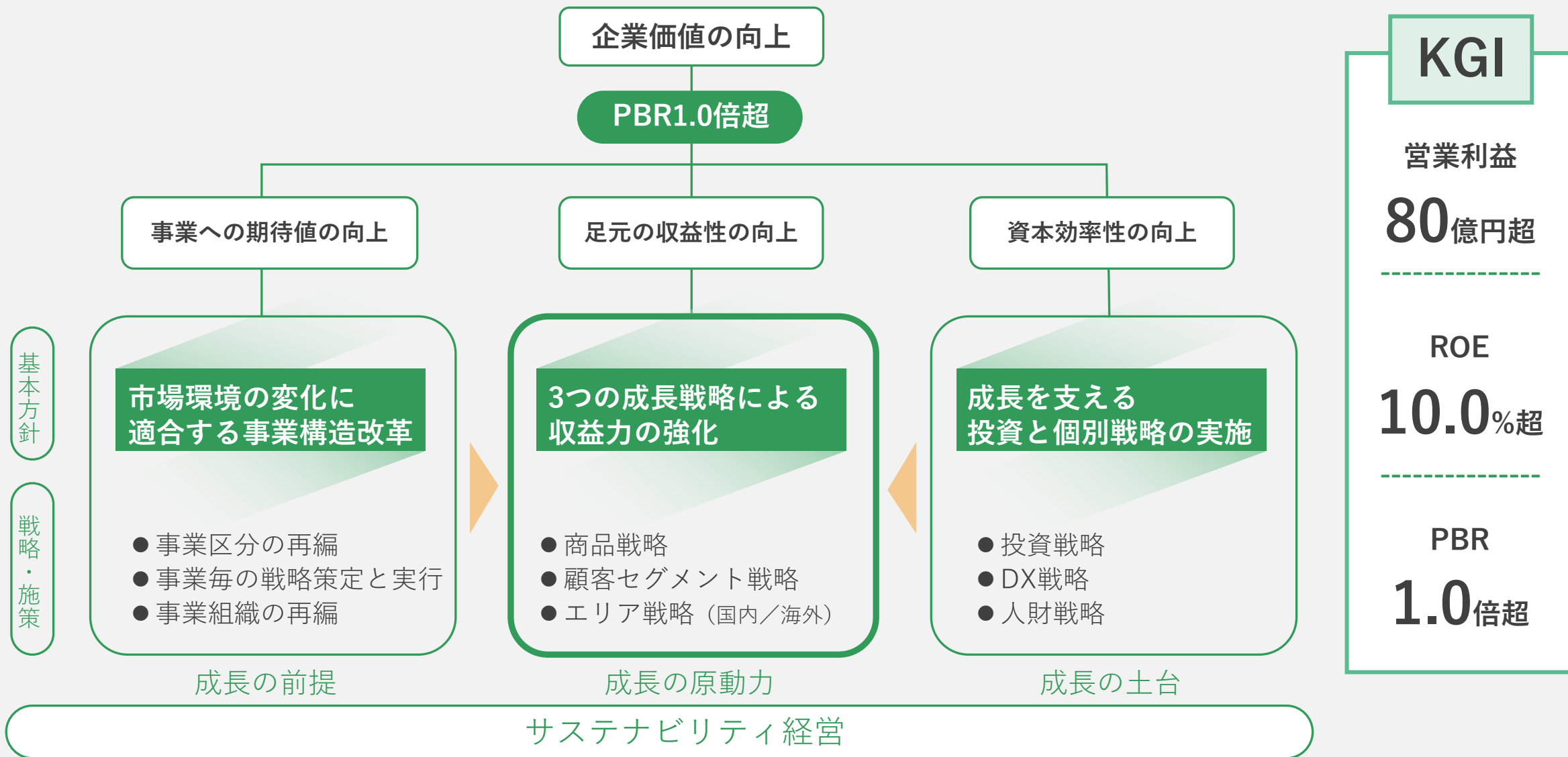
当期純利益 **26.1** 億円 増減率 6.8 %

2025年度-2027年度
第12次 中期経営計画
“SUN-WA Growth Plan 2027”

価値ある提案力を高め、製造業の未来に貢献する



第12次中期経営計画の骨子・経営目標



3つの成長戦略による収益力の強化



電子コンポーネント
Electronics Components



制御デバイス
Control Devices



産業用PC
Industrial Computing



FAソリューション
FA Solutions

営業本部を4つの部門に再編、部門毎の戦略策定と具体的施策の実行で商品戦略の回転を加速

「医療機器」と「社会インフラ」の2セグメントを加え、顧客セグメント戦略の幅を広げてより力強く回転

6セグメント → 8セグメント

エリアの
完全掌握

5支社
(国内30拠点)

3地域統括
(海外40拠点)

新規開拓顧客の特定と獲得により
エリア内の顧客基盤を強化し、
戦略の面積(展開領域)を拡大

商品戦略

顧客セグメント
戦略

業界に精通した
営業力

製品に精通した
提案力

エリア戦略
(8拠点)

顧客に密着した
営業力

収益力の強化

KGI

営業利益
80億円超

ROE
10.0%超

PBR
1.0倍超

部門の再編（営業本部を4部門体制へ移行）

部門		定義	主要取扱メーカー
 電子コンポーネント Electronics Components		電子・機構部品及び加工組立された商品を提供する事業	オムロン、ミネベアミツミ、フエニックス・コンタクト、ケル、TDKラムダ、スタンレー電気、ニチコン、オータックス
 制御デバイス Control Devices		産業システムや機械の制御・管理を提供する事業	安川電機、ダイヘン、オムロン、シーメンス
 産業用PC Industrial Computing		産業用PCを活用したハードウェア・ソフトウェアを提供する事業	シーメンス、コンテック、アドバンテック、リコーPFUコンピューティング、東芝、明電舎
 FAソリューション FA Solutions		FA市場での効率化、品質向上ソリューションを提供する事業	安川電機、ダイヘン、デンソーウェーブ、FUJI、三機工業、オムロン、エムテック、フジプレアム

顧客セグメント別 戦略方針と見通し

競争力強化セグメント

セグメント	戦略方針	主な取り組み内容	目標成長率 (3年平均)	2025年度 上期進捗状況	今年度の当社の 状況
半導体 製造装置	独自の技術提案力と 顧客基盤で業界に貢 献する	① 大手顧客との重要テーマの獲得と当社提案製品採用を実現 ② 最先端の製造プロセス装置へ、ウエハ搬送装置・制御盤ユニットなどの試作品を提案 ③ 計測装置メーカーとの連携を通じ、顧客工場での評価案件を獲得	15%	40%	
ロボット	市場拡大と技術進化 で強みを発揮する	① 次世代のロボット用途を見据えた新領域のテーマ獲得を推進 ② リモートサポートやサイバーセキュリティなど、ロボットのインフラ周辺領域で案件を獲得 ③ 中国、欧米との情報交換を開始し、海外メーカーの新規商材発掘を推進	15%	40%	
工作機械	マザーマシンの高性能化・自動化・デジタル化で成長する	① 工程集約・自動化に貢献するシステムソリューションの提案を強化し、複数の新規案件獲得 ② メカ商材・電商材の組み合わせ提案を強化し既存顧客の深耕を推進中 ③ 海外拠点との連携を強化し各地域のターゲット顧客に合わせた商談を展開中	12%	50%	

顧客セグメント別 戦略方針と見通し

積極的投資セグメント

セグメント	戦略方針	主な取り組み内容	目標成長率 (3年平均)	2025年度 上期進捗状況	今年度の当社の 状況
医療機器	技術革新と社会的 ニーズの変化を背景 に規模拡大を狙う	① 大手優良企業への提案。専門性が高いメーカーの選定を強化 ② 透析器や手術支援ロボットなど、将来性の高い分野の優良顧客に対し、製品の深耕提案を継続 ③ 主要メーカーとの連携による高付加価値商材の発掘を推進	15%	45%	
社会 インフラ	将来、基盤となるインフラ毎に共通する最適提案を発信する	① 電力・ガス分野の拡販品を選定し提案活動開始 ② 電力・重電メーカーへの提案活動による変電所デジタル化や鉄道向け変電所で評価・試作案件を獲得 ③ 市場動向の探索・分析を継続。ターゲット顧客への提案活動を強化 ④ 大手自動車メーカーの販売チャネル向けに、EV充電器の受注を獲得	12%	45%	
車載	モビリティ進化を支える環境・安心分野で基盤技術強化を狙う	① 先進運転支援(ADAS)×ヒューマン・マシン・インターフェース(HMI)/インフラ連携に関わる参入強化 ② 電動化テーマに対応した商品提案 ③ 既存・新規顧客への接点機会を増やし顧客満足度向上	12%	50%	

顧客セグメント別 戦略方針と見通し

高効率化セグメント

セグメント	戦略方針	主な取り組み内容	目標成長率 (3年平均)	2025年度 上期進捗状況	今年度の 当社の 状況
FA コンポーネ ント	広い顧客層に多岐 にわたる商品品種 を提供する	①回路構成の理解に基づく効率的な電子部品ソリューションの提供 ②アプリケーション軸で戦略商品の創出と展開 ③エネルギー、自動化、AI関連アプリケーションに特化した拡販	12%	35%	
専用機械	将来、基盤となる インフラ毎に、共 通する最適提案を 発信する	①アプリケーションを基にシステム構成をブロック化した商品の 提案 ②業界トレンドに対応したユニット提案による付加価値の提供 ③グローバル市場で競争力のある商品を投入	12%	45%	

3つの成長戦略（主要取扱メーカーと主要顧客）

商品戦略

主要取扱メーカー

尖った商品の発掘と創出



電子コンポーネント
Electronics Components

オムロン、ミネベアミツミ、フエニックス・コンタクト、ケル、TDKラムダ、スタンレー電気、ニチコン、オータックス



制御デバイス
Control Devices

安川電機、ダイヘン、オムロン、シーメンス



産業用PC
Industrial Computing

シーメンス、コンテック、アドバンテック、リコーPFUコンピューティング、東芝、明電舎



FAソリューション
FA Solutions

安川電機、ダイヘン、デンソーウェーブ、FUJI、三機工業、オムロン、エムテック、フジプレアム



ソリューション開発

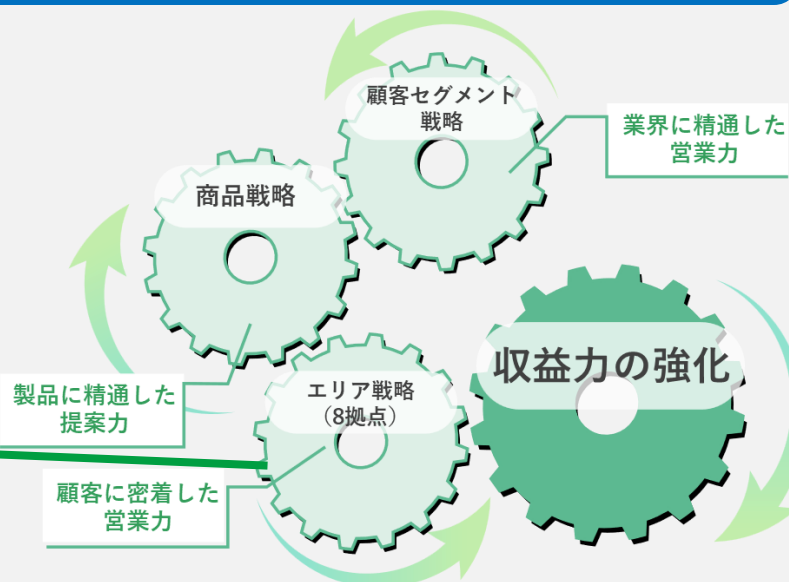
ロボットソリューション、搬送ソリューション、マシンコントロールソリューション

エリア戦略

5支社
(国内30拠点)

エリアの
完全掌握

3地域統括
(海外40拠点)



顧客セグメント戦略

主要顧客

競争力強化セグメント

半導体
製造装置

SCREEN、KOKUSAI ELECTRIC、キオクシア、ニコン、村田機械、ダイフク、新川

ロボット

安川電機、デンソーウェーブ、ダイヘン、川崎重工業

工作機械

DMG森精機、ヤマザキマザック、オークマ、三菱電機、アマダ、ブラザー工業、コマツNTC

積極的投資セグメント

医療機器

キヤノンメディカル、島津製作所、ベックマン、日機装、ニデック

社会
インフラ

NEXCO、日立チャネル、富士電機、京三製作所、コイト電工、日本信号、大崎電気、エネゲート、アズビル金門

車載

デンソー、スタンレー電気、アドヴィックス、小島プレス、三菱

高効率化セグメント

FAコンポーネン
ト

安川電機、オムロン、三菱電機、富士電機、SMC、グローリー、山洋電気

専用機械

島精機、堀場製作所、住友重機、三菱プレシジョン、三浦マニファクチャリング、ピアメカニクス、デュプロ

株式会社エムテック 及び HTK Europe Limitedのグループ会社化

株式会社エムテック

2025年9月30日付で株式会社エムテックを株式交付による子会社化

- ✓ メーカー機能（技術と商品開発力）の獲得により、顧客ニーズに応えるソリューション開発を加速
- ✓ 独自モーション制御・3D解析技術を獲得し、柔軟な自動化システムを内製化
- ✓ 提案の差別化を図り、ロボット・FA市場での競争力強化



【目的】 メーカー機能の獲得によるイノベーションの内製化

- 「独自性・付加価値の向上」のため、「技術商社」から「メーカー機能」を持ちロボット・FA分野における自社製品ラインナップを強化



【強み】 高度な「制御・解析・プロセス」技術

- 独自制御技術：センサ情報を駆使した独自のモーションコントロール技術。複雑な動作に対応可能な柔軟な自動化システムを実現。
- 3D解析技術：3D CADを用いたシミュレーションにより、最適な生産プロセスと設備仕様を迅速に設計。導入コストを低減し、短納期化に貢献。



【効果】 提案の差別化と案件獲得力の強化

- 技術の内製化により、顧客ニーズを即座に開発へフィードバックできる体制を構築。ソリューション開発のリードタイムを短縮
- エムテックの「独自制御・解析技術」が当社のソリューションに加わることで提案の差別化を図り、複雑・高難易度なFA案件の受注機会の拡大につなげる

HTK Europe Limited

2025年10月31日付でHTK Europe Limitedの全株式取得

社名を「SUN-WA TECHNOS (UK) Connect Solutions Ltd.」に変更

- ✓ ワイヤハーネスの生産、制御盤の加工・製造機能をグループ内に取り込む
- ✓ サプライチェーンの現地化・強化を通じて欧州市場での持続的な事業拡大を加速



【目的】 現地製造機能を獲得し欧州市場への参入を加速

- 欧州市場では顧客が現地設計・現地対応を重視。HTK Europeのハーネス・制御盤製造機能を取り込むことで、現地生産対応型のビジネスモデルへ転換することにより、現地優良企業の開拓につなげる。



【強み】 欧州の安全規格への対応と顧客密着型のソリューション供給体制の構築

- 欧州における安全規格に即した製造・品質体制を保有し、ハーネスや制御盤を顧客設備仕様に応じてカスタム生産できる体制を構築



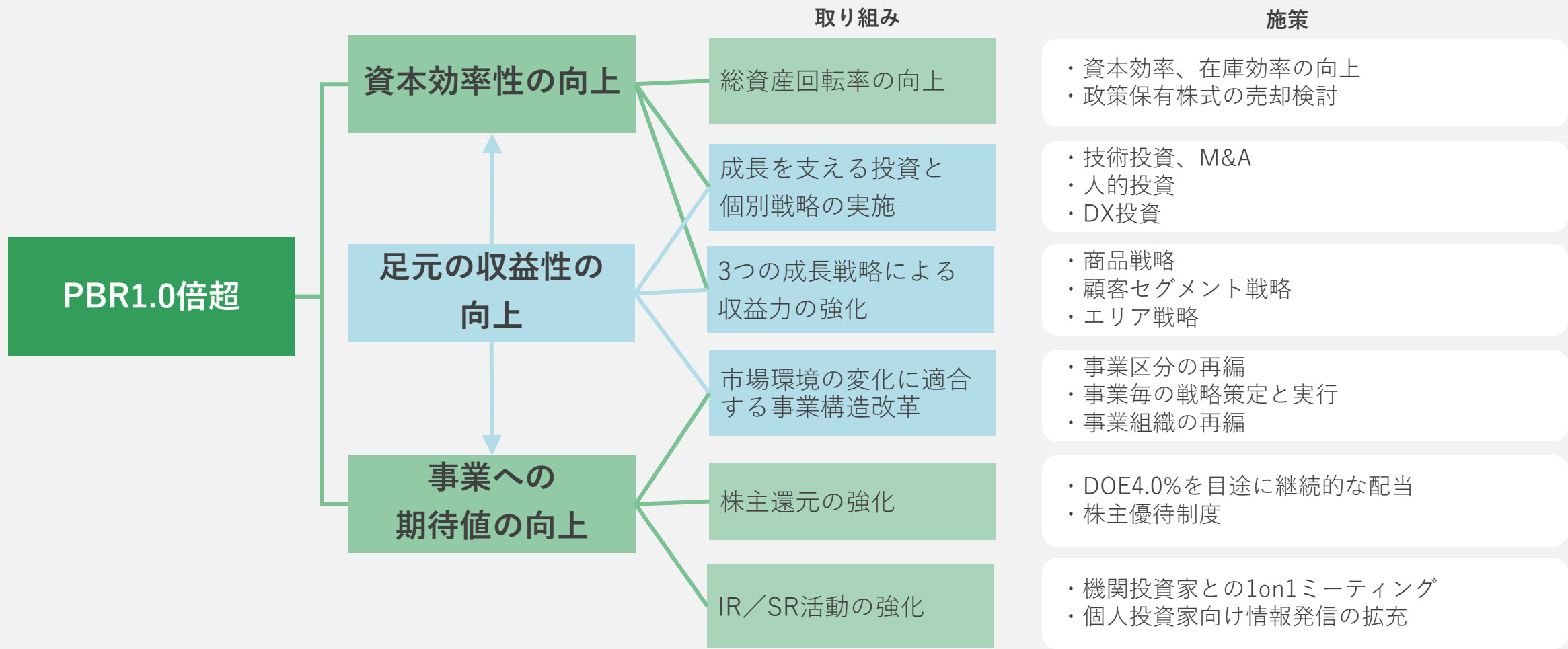
【効果】 現地生産体制による収益力の強化

- 欧州域内の製造付加価値取り込みによる高収益化を実現。欧州域内での調達・供給を強化しリードタイム短縮・安定供給体制の確立を図る。これにより中期的な欧州市場での事業拡大と利益成長につなげる。

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

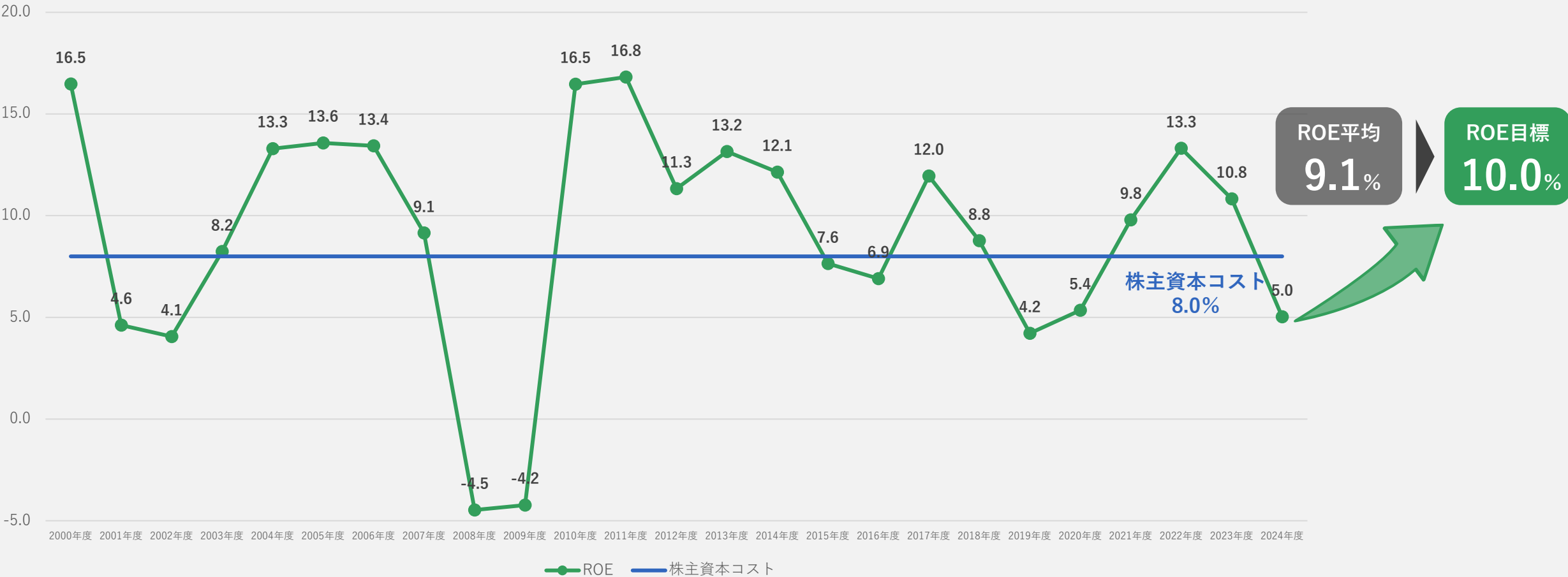
全体方針

株主価値向上のために、『営業利益80億円超』『ROE10.0%超』『PBR1.0倍超』を経営目標値（KGI）として以下の取り組みと施策を実施



ROEと株主資本コスト

CAPM及び機関投資家との対話から株主資本コストをおおよそ8.0%程度と認識
新中計ではROE10.0%以上を目標として、引き続き資本収益性の改善に取り組んでまいります

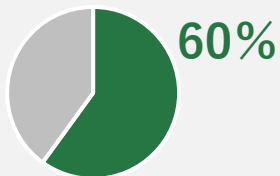


主な取り組み

事業への
期待値

機関投資家とのIR・SRミーティング強化

IR・SRミーティング回数増加 経営トップが積極参加



IR・SRミーティングで議論に上がった
当社の課題を経営会議などで積極的に議論し、
当社の事業や成長戦略をより理解してもらえるよう改善

資本
効率性

サンワ版ROICの導入

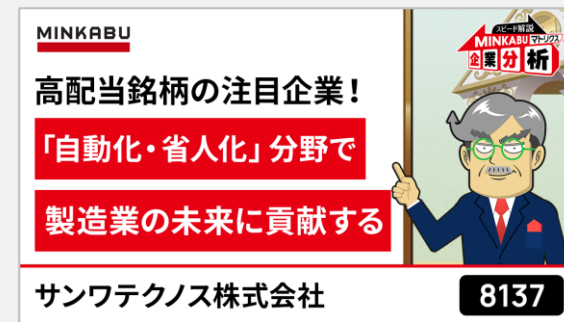
利益指標のみ重視
した評価制度

資本効率性も重視
した評価制度

事業への
期待値

Webを活用したIR活動の強化（認知拡大）

Web広告



TVCM

事業への
期待値

株主優待制度のさらなる拡充

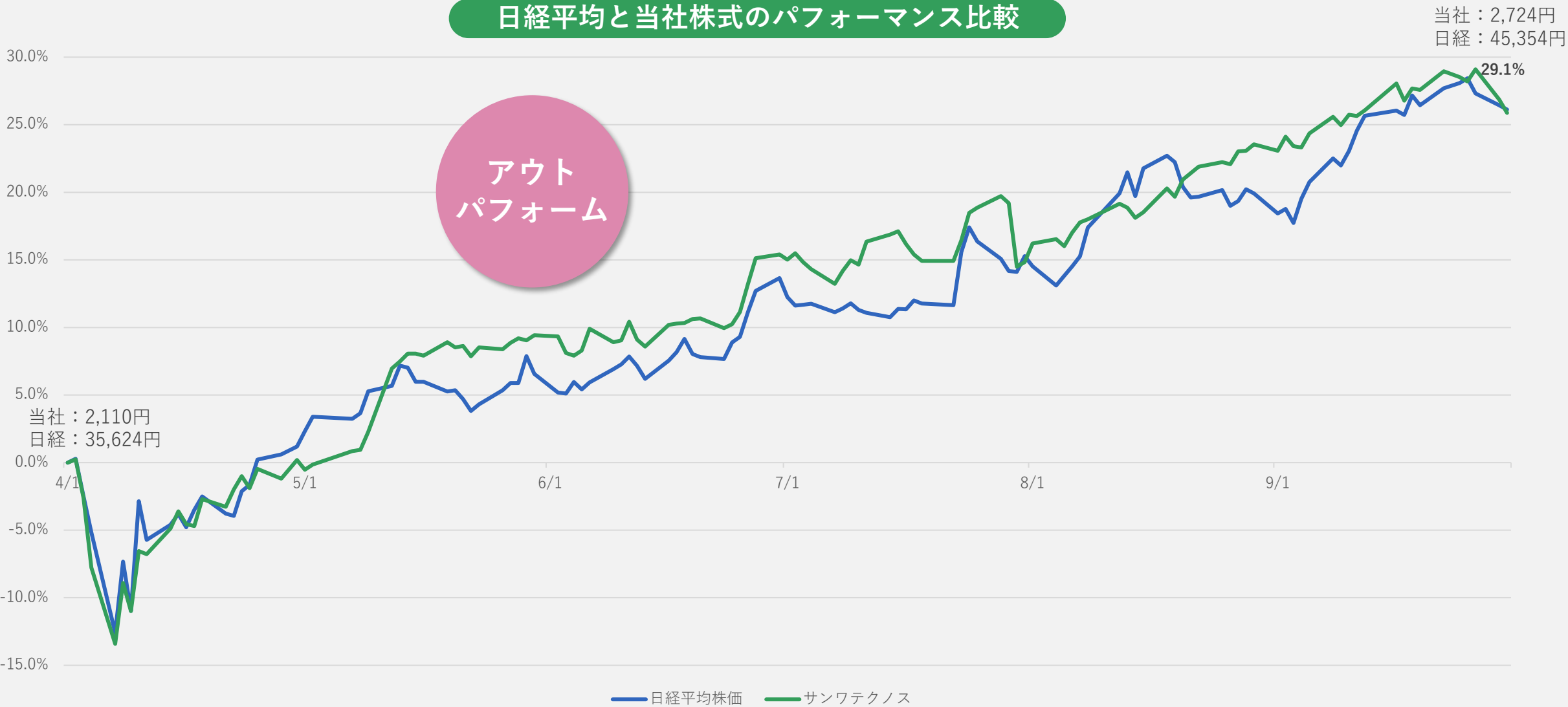
長期保有
廃止

株式区分
変更

デジタル
ギフト

主な取り組みと成果

日経平均と当社株式のパフォーマンス比較

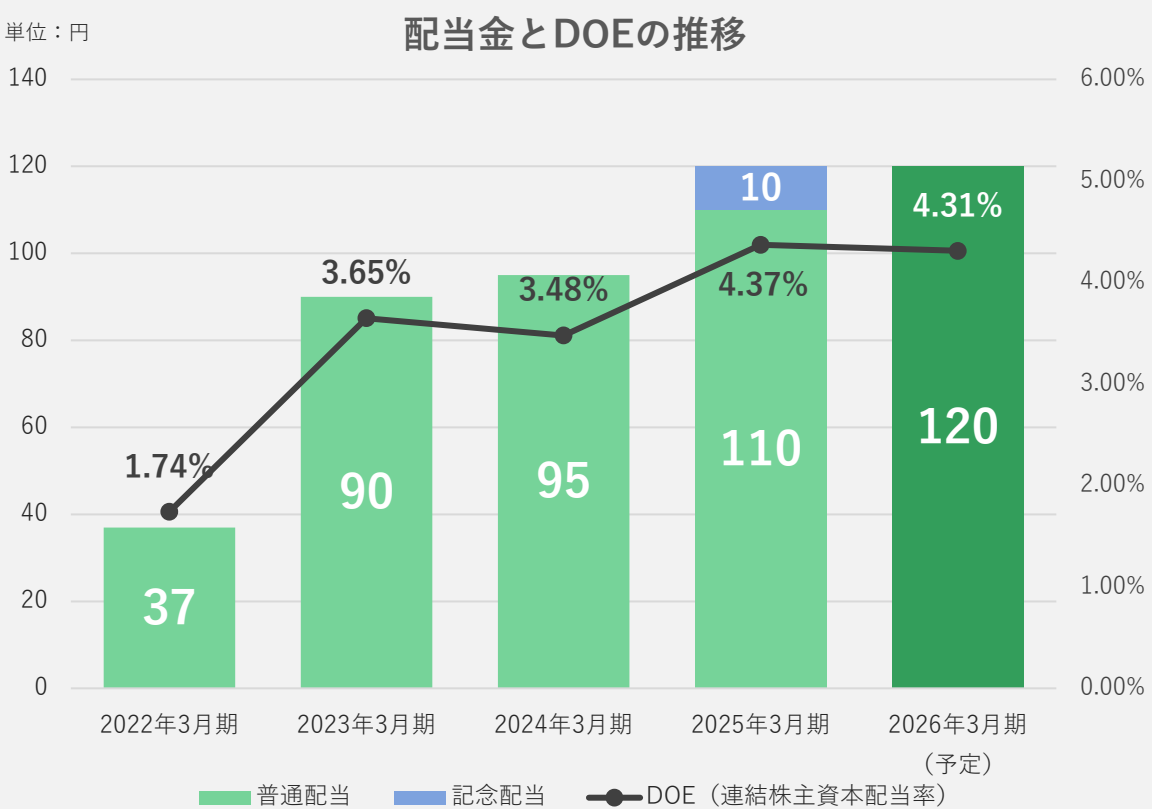
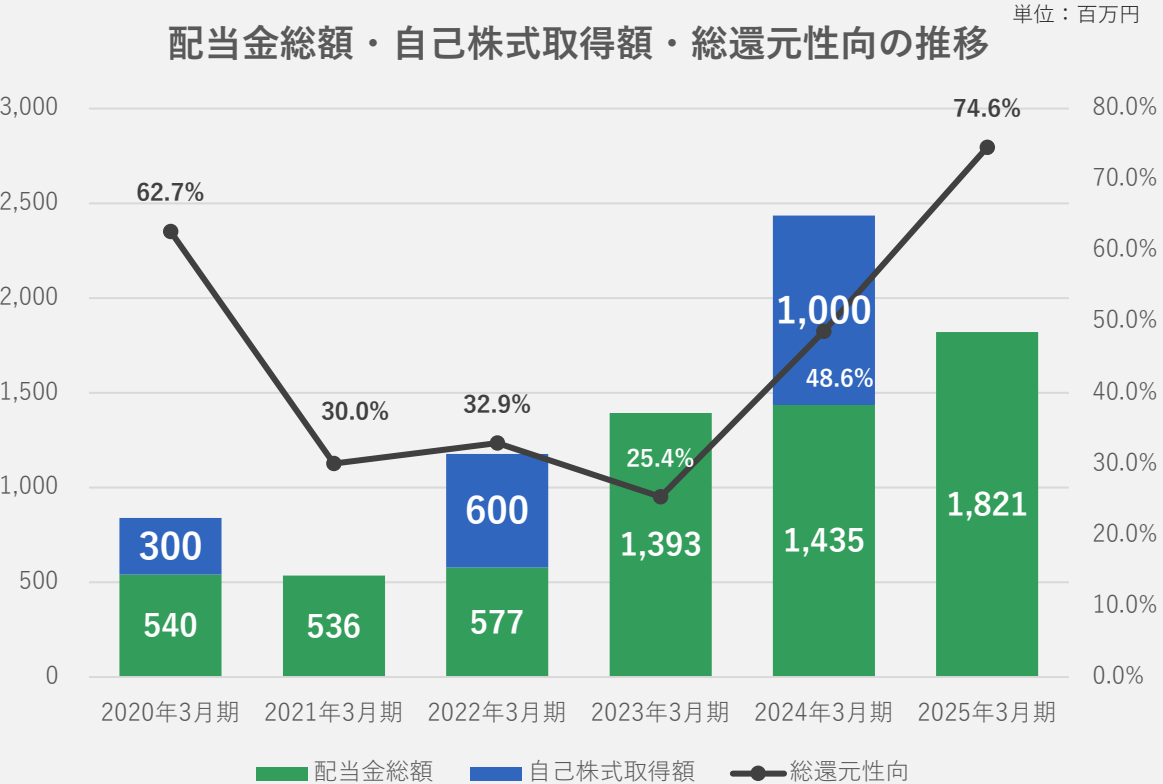


株主還元

株主還元方針と過去の推移について

株主還元方針

- ・ 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- ・ 毎年の配当金はDOE（連結株主資本配当率）4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施
- ・ 株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施



株主還元におけるこれまでの取り組み

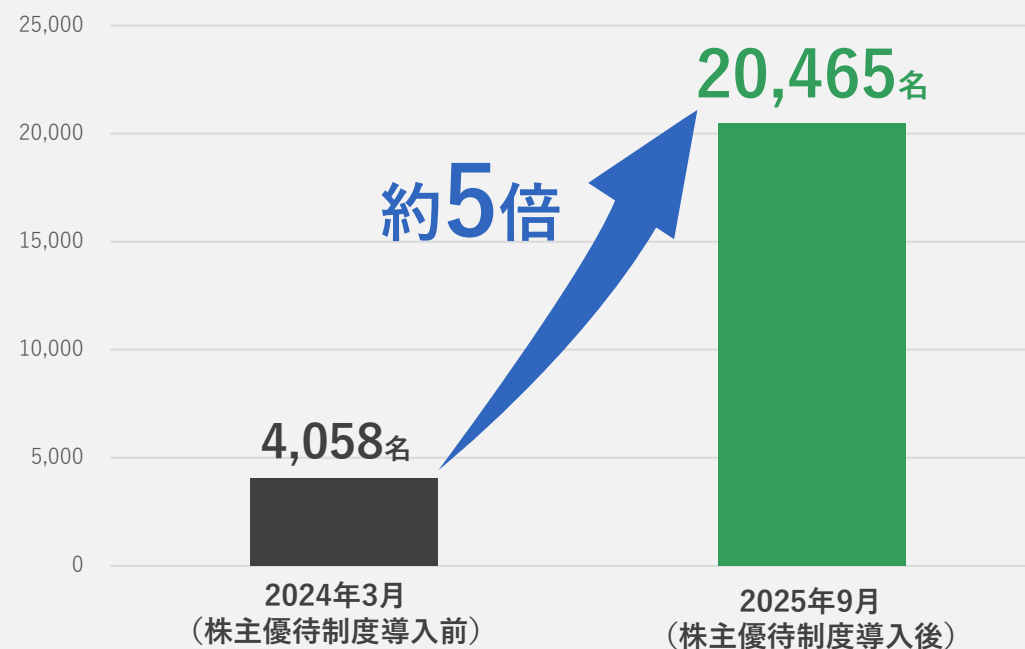
これまでの取り組み

- 2023年1月 株主還元方針の変更
(連結配当性向25%~35%を目標)
- 2023年5月 自己株式取得 (10億円)
- 2024年5月 株主優待制度の導入
75周年記念配当実施を発表
- 2024年10月 株主還元方針の変更
(株主資本配当率: DOE 4.0%以上を目標)
- 2025年5月 株主優待制度の拡充 (1回目)
- 2025年10月 株主優待制度の拡充 (2回目)

株主還元方針の機動的な見直し



株主数の大幅増加



株主優待制度について（2026年3月期～）

この度、株主優待制度の内容を一部変更いたします。
長期保有優待（2年以上）の廃止、保有株式数の区分変更することで今後新たに投資を始める方にも当社株式を保有していただき、新NISA枠を柔軟にご活用いただけるよう株主優待制度を拡充いたしました。加えて、当社株主優待制度における株主の皆様の利便性向上を目的に優待品目をQUOカードからデジタルギフトへ変更することといたしました。

01

対象となる株主様

2026年3月末日現在の
当社株主名簿に記載または記録された

100株（1単位）以上

保有されている株主様より
変更後の制度を適用いたします。

02

株主優待の内容

対象となる株主様の保有株式数に応じて、
下記の金額分のデジタルギフトを進呈いたします。

保有株式数	株式保有期間2年未満	株式保有期間2年以上
100株～200株未満	1,000円	左記に + 1,000円
200株以上	3,000円	左記に + 2,000円



保有株式数	株式保有期間の制限なし
100株～200株未満	2,000円分
200株以上～400株未満	5,000円分
400株以上～800株未満	10,000円分
800株以上～	20,000円分

03

進呈時期

3月末を基準日として、
定時株主総会後に発送する株主通信に
「株主優待のご案内」同封し、
年1回進呈いたします。



DIGITAL GIFT

以上のように、高い成長性・収益性・安定性を求めて、
経営に努力して参りますので、
今後もより一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

Appendix

想定為替レートと為替感応度

	2026年3月期 想定為替レート	1円変動による影響額	
		売上高	営業利益
USD/JPY	144.0	444百万円	66百万円

※USD/JPYが変動し、他通貨も同じ比率で変化したと想定した場合の影響額

IRサイトのご案内

IRサイト

ステークホルダーの皆様に向けて、財務情報や経営方針、最新の業績情報などを分かりやすく提供しています。

<https://www.sunwa.co.jp/ir/>



説明会 動画

大和インベスター・リレーションズ様主催
サンワテクノス投資家向け説明会動画

<https://www.daiwair.co.jp/detail.cgi?code=8137>



IR特集 サイト

ラジオNIKKEI様主催 サンワテクノスIR特集サイト
ワイド番組『ザ・マネー』水曜内コーナー

<https://www.radionikkei.jp/8137ir/>



お問い合わせ先

経営企画部 企画・IR課

〒104-0031

東京都 中央区 京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F

TEL：03-5202-4011

FAX：03-5202-4054

お問い合わせ・IRミーティングのご希望はHPからでも承ります。

※ご相談窓口はこちら↓



本資料取り扱い上の注意

- ・本資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想見通しの記述が含まれています。
- ・これらの記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。
- ・従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料取り扱い上の注意点

- 本資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- 現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。
- 従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。